



第332号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成29年度大規模地震時医療活動訓練に当会が参画しました！！ 1~2
- 《各部局報告》 3
- 《行事予定表》 4~5
- 《会員グルメ情報》・《各部局報告》・《求人情報》 6~7

平成29年度大規模地震時医療活動訓練に当会が参画しました！！

(7月29日)



国の平成29年度総合防災訓練大綱「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画(平成29年6月改定)」等に基づき、内閣府主催により南海トラフの地震を想定し、大規模地震時医療活動に関する総合的な実働訓練が7月29日(土)全国各地域にて実施されました。当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図ることを目的に、三重県、和歌山県、大阪府、兵庫県に甚大な被害発生を想定し行われました。兵庫県は被災県としては初めての訓練参加となりました。

●南あわじ 広域搬送拠点臨時医療施設(SCU: Staging Care Unit)における搬送訓練 ー南あわじSCUにおける臨床検査関連の報告ー

【参加状況】

人的支援として兵臨技から南あわじSCUに県立淡路医療センターの臨床検査技師3名、神戸赤十字病院からDMAT隊員として臨床検査技師2名が参加した。

物的支援としてメーカー3社(Sysmex・和光純薬・富士フイルム)が協力した。Sysmexはラボカーを投入し、薬剤師会とも提携を結んでおり、緊急時には移動調剤室として活用することを想定していた。



【活動内容及び役割】

仮設ラボには、検査機器9台(血算、凝固、生化学、感染症、血液ガス、血液型、輸血など)を設置し、臨床検査技師はワンタッチテント内にスタンバイし、「検査依頼を受ける→仮設ラボで測定を行う→結果を報告する」という一連の流れをシミュレートして行った。

【訓練結果】

《DMATとの連携について》

経験が浅いため、DMAT隊員との距離感が、最初は戸惑いがあり遠巻きに見ていたが徐々に距離が縮まり、慣れるに従い連携が円滑になった。最終的には医師が手を伸ばせば届く範囲で待機できるようになり、終了時の総括にて医師から好評価をいただいた。

《気温について》

訓練当日はかなり気温が高く、機器を設置した机上で40℃近くを示しており、設置機器9台中7台にエラーメッセージが表示された。測定は可能であるがデータの信頼性が担保できない状態であった。

《今後の課題》

1. 天候への対応

高温、低温、雨、風など、どんな状況でも機器が作動することを想定した準備が重要と感じた。また、風により紙媒体の検査結果が飛んでしまったのでその対策も必要と思われた。状況によっては屋内へのラボ設置も想定できるが、仮設テントから距離が離れるほどマンパワーを要するので考慮すべき点と考える。

2. 機の素材

木はかなり熱を吸収することがわかった。アルミ製の机はあまり熱を吸収していなかった。

3. 見やすいデータの提供

当初、単純にデータが羅列された結果を渡していたが、途中から異常値に印を入れて渡すようにしたところ、終了時の総括にて医師から好評価が得られた。

4. 医療従事者の体調管理

水分補給、冷却、休憩などを適宜行い、参加する医療従事者自身の管理が重要であることが確認できた。

南あわじSCUにおいては、臨床検査技師が医療活動に積極的にかかわることができた。また、様々な問題点も浮き彫りになったが、条件が整えば、仮設ラボという形で院内検査室と遜色のない検査データを提供できることを参加者に認識してもらうことができたと思う。DMATの考え方として、今まではDMATで全てを行うという立場であったが、近年は、現場で専門的な医療活動が求められるようになってきており、DMAT以外の専門職との連携が必要であるという姿勢へ移行しているそうである。このような状況およびPOCT機器の進歩を鑑みると、今後緊急時の医療活動に臨床検査技師が関与する可能性は高いと思われる。その場合の基本姿勢として、臨床検査技師である前にいち医療人であることをしっかり認識し、臨床検査にこだわることなく必要とされている状況を的確に判断し臨機応変に対応する柔軟性が最も重要であると考えます。なおこの大規模地震時医療活動訓練に参加された会員の感想文は次月号に掲載いたします。

(文責：真田 浩一&広報部)

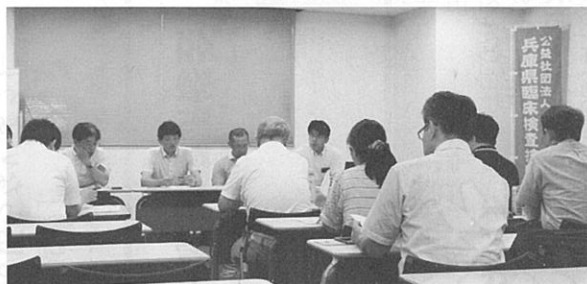


各部局報告

組 織

阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議開催される (8月5日)

平成29年8月5日兵臨技研修センターにおいて、阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議が開催されました。中町会長挨拶のあと、検体採取、検査説明、病棟検査技師、在宅医療、認知症対応力向上講習会事業、兵臨技からのメールでの案内、サテライト研修会、図書貸出、兵臨技精度管理、平成29年度兵庫県医学検査学会等を中心に兵臨技活動について活発な意見交換がされました。



新入会員研修会・交流会開催される

同日同研修センターにおいて、新入会員研修会が開催されました。井垣副会長がビデオを用いて、日本臨床衛生検査技師会(日臨技: Japanese Association of Medical Technologists: JAMT)の組織の成り立ちや活動について紹介しました。次に真田副会長が兵臨技の活動等を実際にインターネットを用いてホームページをみながら解説されました。

続いて、神前雅彦先生(兵庫医科大学病院)による「検査前プロセスー採血の基本と患者対応ー」と、吉田弘之先生(株兵庫県臨床検査研究所)による「誰でも出来る感染対策ー臨床検査技師が知っておきたいことー」の講演が行われました。



神前先生



吉田先生

研修会の終了後、兵臨技主催施設交流会・新入会員歓迎会も開催されました。交流会は参加された会員の皆さんが時間の経つのも忘れるくらい、始終和やかな雰囲気でした。施設や年代を問わず様々な意見交換できる機会は貴重であると同時に、新入会員の皆さんにとって良い刺激、励みになったと思います。折しも神戸港では「第47回みなとこうべ海上花火大会」が行われており、神戸開港150年を記念して、花火打ち上げ数を1万5000発に規模を拡大して開催されていました。新入会員を歓迎するかのように尺玉やスターメイン、仕掛け花火が神戸港一帯をまばゆく照らし出す様子が会場の窓から観えました。





会員グルメ情報

数珠つなぎ

[7]

東 恭加会員（県立柏原病院）

今回は丹波市柏原町にある『無鹿（むじか）』さんを紹介します。鹿肉料理と丹波の野菜のお店です。

お店の場所は、JR福知山線 柏原駅から徒歩7分、柏原の街中にあります。駐車場も整備されています。古民家を改装して建てられたお店は、隠れ家のような落ち着いた雰囲気、店内は温かみのある優しい灯りが印象的なおしゃれな空間です。テーブル席とお座敷席があり、お座敷からは風情ある和風の庭が見え、季節を感じながらお食事をいただくことができます。

“鹿肉料理”と聞いただけで、「肉が硬い」・「くさみがある」といったイメージが浮かび、少し身構えてしまう方もいらっしゃるかもしれません。しかし、店主のこだわりの調理法でとても食べやすくなっています。鹿肉は良質なタンパク質と鉄分などのミネラルを豊富に含み、さらに脂肪が少なく、消化の良い食べ物です。この鹿肉を、野菜ソムリエでもある店主が厳選した丹波の新鮮な野菜と共にいただくことができます。

初めて鹿肉料理を食べられる方には「お昼のコース」がおすすめ。前菜は季節の野菜を使った9種盛りで、メインは鹿肉のロース蒸し焼きなど3種類から選べます。店員さんが一つ一つ丁寧に料理の説明をして下さるのも魅力の一つです。鹿肉をいただいた時の一口目は、「これが鹿肉?!」という驚きと感動があります。全くくさみは無く、とてもあっさりしていて、お肉本来のおいしさが口の中にやさしく広がります。

「鹿肉の本当のおいしさを知ってもらいたい!」と思う店主がお待ちです。ぜひ一度、柏原まで足を運んでみられてはいかがでしょうか?



組 織

第35回西播地区研究発表会に参加して (7月23日)

内藤 裕子（公立神崎総合病院）

7月23日太子町あすかホールで第35回西播地区研究発表会が開催されました。

今年度も10演題が発表されました。最初の演題は「自己血糖測定器(SMBG)における比較検討」でした。当院では看護師管理になっているため、将来的には関わっていきいたいという思いもあり興味深く聞かせて頂きま



した。最後の演題「アンケート結果から見えた西播地区研修会の取り組み」では、新旧の組織部の方の功績があってこそ、長くより良い研究発表が続いているという事が実感出来ました。また、「当院における免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策の取り組み」を発表した当院の演題は大変興味を持って頂いた演題の中の1つでした。

お弁当を食べながらの一般部門での分科会では、困っている事や知らなかった「アプト試験※」という検査方法などを聞くことが出来、大変充実した時間を過ごす事ができました。

午後からの医療公開講座は「あたまの病気～神経内科医が目にするサイン～」をテーマに東靖人先生(姫路中央病院 理事長・神経内科)が講演されました。一般の方の関心も高く、会場がアツという間に埋め尽くされ熱気が伝わってきました。東先生も200枚にもわたるスライドを分かりやすく説明され、認知や脳梗塞に対する何もわからない恐怖が少し和らいだように思えました。続いて「病気の原因お調べします～脳と神経の検査～」では木村拓哉さん似の松崎俊樹先生(姫路赤十字病院)の講演でしたが、検査に対する親しみが持てる内容で一般の方に臨床検査技師に近い存在になったと思います。

とても良い西播地区研究発表会でした。来年も是非参加させて頂きたいと思いました。

※編集部注 アプト試験(Apt試験):ヘモグロビンに対するアルカリ抵抗試験



東先生



松崎先生

有川 裕美子(姫路聖マリア病院)



分科会

この度、第35回西播地区研究発表会に参加させていただき、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。

一般演題では、各施設で工夫されていることや取り組みを知ることができ、とても勉強になりました。分科会では他施設の方々の業務の様子を窺えたり、意見を交換できたりと、有意義な時間となりました。医療公開講座では、脳卒中、認知症およびパーキンソン病について講演していただきました。分かり易く講演していただき、疾患についての理解が深まると同時に、早期発見、早期治療の大切さを改めて感じました。また、臨床検査技師の役割や検査業務についての講演もあり、一般の方々に臨床検査技師について知ってもらう良い機会になったのではないかと思います。

今回の発表会に参加することで、学ぶべきこと、努力すべきことが多くあると改めて感じました。次回の発表会にはひと回り成長して参加できるよう、努めていきたいと思っています。

第7回医療公開講座に参加された市民にアンケートを取らせていただきました。そのアンケートは紙面の都合にて次月号掲載とさせていただきます。

求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●松原メイフラワー病院

交 通: 滝野社ICより約7分

(車通勤可、駐車場あり)

採用条件: 正社員(治験コーディネーター)

業務内容: 医師と患者の間にたち、治験内容の説明、臨床検査の実施・管理等

連絡先: 総務課 0795-42-8851

(担当者: 萩原)

●宝塚市立病院

交 通: 阪急「逆瀬川」下車 阪急バス10分

採用条件: 正規職員 夜勤のできる方

業務内容: 検査業務全般

受付期間: 平成29年9月8日まで

連絡先: 0797-87-1161 経営統括部

(詳しくは病院HPをご覧ください)

お知らせ

1



平成29年度 ふれあいの祭典 西播磨ふれあいフェスティバル



◆◇◆◇◆◇健康福祉まつり◆◇◆◇◆◇

毎年1回、兵庫県内の各地域持ち回りで開催している「ふれあいフェスティバル」。

平成29年度は、まちびらき20年を迎える播磨科学公園都市を会場に、西播磨地域で開催します。会場出展イベントの中で、健康福祉まつりがあり、県民一人ひとりが健康や福祉について広く理解し、共に考え、多くの方に体験してもらえる場を提供します。今年度も(公・社)兵庫県臨床検査技師会は参画します。

日 時：平成29年10月28日(土)～29日(日) 10:30～16:30

場 所：播磨科学公園都市芝生広場(赤穂郡上郡町光都)

内 容：「体を見て、診る、臨床検査で健康に！」

診断に欠かすことの出来ない臨床検査に関する説明と検査実演

お知らせ

2

平成29年度 看護フェア

日 時：平成29年11月18日(土) 10:00～15:30

場 所：兵庫県看護協会会館

テーマ：「自分らしく最期まで生きる」

内 容：◎基調講演

◎医療職団体による測定体験および相談

・兵庫県臨床検査技師会・・・頸動脈超音波測定

(他に兵庫県放射線技師会、兵庫県栄養士会、
兵庫県歯科衛生士会、兵庫県理学療法士会が参加)

◎まちの保健室による健康チェック、健康相談

◎相談コーナー(認知症、介護、妊娠・子育て、就学・進学など)

◎体験コーナー

・乳がん予防自己チェック

・高齢者疑似体験

・感染予防(手洗いチェック)

◎介護関連用品等の展示・販売

参加費：無料

